

## 授業科目

## がん看護学演習I ※CNSコース

担当教員名 北島 昌樹、手島 美子、石田 和子 (非)	対象学年	1・2	対象学科	健康科学 (看護学分野)
	開講時期	後期 (1学年)・前期 (2学年)	必修・選択	選択
	単位数	4	時間数	60

## 授業の概要

がんの予防・早期発見における専門看護師の役割について理解し、がんの診断・治療におけるインフォームドコンセントと自己決定、がんと共に生きる患者、家族の心理・社会的問題に対する専門的な看護支援について理解する。終末期ケアではトータルペインの概念を学び、自己の演習計画をもとに緩和ケア施設において緩和ケアを実践し、自己の学びと課題について明らかにする。実習施設におけるがん看護学実習に際し、がん看護CNSより自施設での活動の実際やサブスペシャリティについて学ぶ。

## 授業の目的

がん患者の自己決定、心理・社会的問題に対する専門的な看護支援について自己の考えを考察する。終末期にある患者への緩和ケアについて概念モデルを用いて緩和ケア施設でフィールドワークを行い、自己の学びと課題を明らかにする。

## 学習目標

- 緩和ケアの概念モデルと意義について説明できる。
- 終末期にある患者の症状マネジメントへの専門的な看護支援について説明できる。
- 緩和ケア施設におけるフィールドワークを通して緩和ケア実践し、自己の緩和ケア観と課題を明らかにする。
- がんの予防・早期発見における専門的な看護支援について説明できる。
- がんの診断、治療におけるインフォームドコンセントと自己決定への専門的な看護支援について説明できる。
- がんと共に生きる患者の理解と専門的な看護支援について説明できる。
- 終末期にある患者の心理・社会的問題に対する専門的な看護支援について説明できる。
- 終末期にある患者の家族への専門的な看護支援について説明できる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1	緩和ケアの概念と意義 トータルペインと緩和ケア	演習
2-1・2	終末期にある患者の症状マネジメント	演習
3-1・2	緩和ケアフィールドワーク演習計画	演習
4-1・2	緩和ケア施設フィールドワーク (指導者へのプレゼンテーション)	演習
5-1~7	緩和ケア施設フィールドワーク	演習
6-1・2	緩和ケア施設フィールドワーク報告会	演習
7-1・2	がんの予防・早期発見と専門的看護師の役割	演習
8-1・2	がんの診断、治療におけるインフォームドコンセントと自己決定への専門的な看護支援 (1)	演習
8-3・4	がんの診断、治療におけるインフォームドコンセントと自己決定への専門的な看護支援 (2)	演習
9-1・2	がんと共に生きる患者への専門的な看護支援	演習
10-1・2	終末期にあるがん患者の心理・社会的問題に対する専門的な看護支援	演習
11-1・2	終末期にあるがん患者の家族への専門的な看護支援	演習
12-1・2	がん看護CNSの活動の実際と課題	演習
13	科学的レポートの書き方	演習

## 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	適時提示する。					
その他の資料						

## 評価方法

- 発表と討議参加状況
- レポート

## 履修上の留意点

CNSコース必修科目

本科目はゼミごとに臨床事例を作成してプレゼンテーションおよびディスカッションに臨む。  
課題レポート:ゼミ終了時に提示

#### オフィスアワー・連絡先

手島美子

メールアドレス : [tejima@nuhw.ac.jp](mailto:tejima@nuhw.ac.jp)

研究室 : K 509

金曜日 : 13時~18時